

明倫小学校教育目標 「よく考える子ども みんなで助け合う子ども さいごまでがんばる子ども」



明 倫

幕別町立明倫小学校 令和8年9月発行 第6号

前期終了！一年の折り返し

朝晩の冷え込みが厳しくなり、初雪の便りも聞こえてくる季節となりました。学校の周りの畑では収穫作業が最盛期を迎え、忙しい時期かとは思いますが、生長した作物が次々と収穫されていく姿を見ていると、実りの秋を身近に感じます。十勝では当たり前の光景かもしれませんが、豊かな恵みに包まれるこの季節は、農村地域ならではの素晴らしい風景です。

さて、子どもたちは前期の学習や行事を終え、ひと回りもふた回りも大きく成長しました。収穫の秋は、これまでの学びを振り返り、自分の「実り」を確認する大切な時期でもあります。前期の通知表（あゆみ）をお子さんと一緒にご覧になり、子どもたちの成長を見つけ、褒め、励ましていただき、自分自身の成長を実感し、明日への意欲につなげてほしいと願っています。

後期は、大きな行事としては「学習発表会」があります。一人一人が取り組む内容がたくさんありますので、2学期が始まってから少しずつ練習を進めてきています。本番はまだ2か月程度先になりますが、計画的に進め、子どもたちに過度な負担がかからないようにしていくと同時に、難しいことにチャレンジし乗り越えていく経験もさせていきたいと思います。引き続きご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。



9月5日(土)の宵宮祭、6日(日)の本祭りと、2日間にわたって地域の大きな行事を楽しみました。昨年も思いましたが、農作業が忙しい中でも、公区みなでお祭りを盛り上げようという気持ちがとても感じられ、子どもたちは本当に笑顔で楽しく過ごすことができました。

お祭りに向けては、老友会・太鼓隊の方に来ていただき「豊年踊り」「相撲」の練習をしたり、今年も灯籠の文字を書いたりしました。宵宮祭では、子どもたちは地域の方が用意をしてくださった出店を楽しみ、そして盛大な花火大会、抽選を楽しむ様子が見られました。本祭りでは、地域の方と一緒にパークゴルフを楽しみ、低学年は子ども神輿もお手伝いし、それから全員で相撲大会をしました。力が拮抗している対決も多く、やるたびに勝敗が変わる見ごたえのある対決が多かったです。

普段なかなか地域の方に子どもたちの様子を見ていただくことができないので、子どもたちの頑張る姿を見ていただけて嬉しかったです。今後ともよろしくお願いいたします。



9月の子どもたちの様子

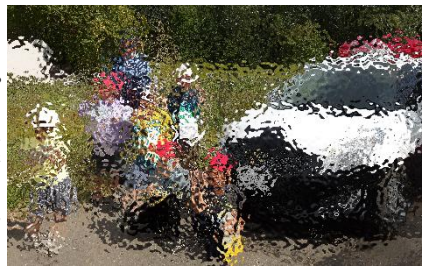
陶芸釉薬付け【9月9日】

7月に行った親子陶芸教室で作ったカップに色付けを行うため、老人福祉センターにある陶芸施設に行ってきました。今年度も「しらかば大学陶芸科」の方に教えてもらいながら思い思いに色付け（釉薬付け）をしましたが、塗った色と焼いた後の色は変わるため、どんな作品が完成するかは、焼いてからの楽しみです。完成した作品は、学習発表会の時にも展示しますので、ぜひご覧ください。



第2回南幕集合学習【9月18日】

2回目の集合学習は、糠内小学校を会場に行いました。今回は、低学年（1～3年）・高学年（4～6年）に分かれて、KDDIの講師の方に「スマホ・ケータイ安全教室」をしていただいたので、各教室での授業は1時間でした。低学年は駐在所の見学（町探検）、中学年は国語の漢字の授業、高学年は外国語の授業で交流をしました。また、休み時間はみんなで体育館に行き、「天下（コートがないドッジボールのようなゲーム）」などをして、たくさん汗を流していました。



10月1日は明倫小学校の開校記念日です。本校は昭和4年10月1日、古舞尋常小学校上茂発谷特別教授所として開校し(当時の児童数は17名だったと記されています)、その後、明倫尋常小学校、明倫国民学校と名称を変え、昭和22年に現在の明倫小学校となりました。明倫地区の歴史と共に年月を重ね、今年、97回目の記念日を迎えました。

10月 生活目標～進んで行動しよう。 保健安全目標～目を大切にしよう。 学校生活での事故を防止しよう。			15	木	マラソン記録会予備日
			16	金	CIR 午前授業
			17	土	
1	木	開校記念日	18	日	
2	金	安全点検日 CIR あゆみ配付日	19	月	まぐべつ教育の日 登下校指導
3	土	まぐべつマラソン大会	20	火	CIR
4	日		21	水	AirDo 航空教室(糠内小)
5	月	全校集会(認証式)	22	木	授業参観日 親子クッキング
6	火	視力検査 CIR 個別面談	23	金	CIR 児童会
7	水		24	土	
8	木	個別面談	25	日	
9	金	CIR 児童会 低学年見学学習(動物園)	26	月	
10	土		27	火	CIR
11	日		28	水	スワディ号
12	月	スポーツの日	29	木	
13	火	CIR	30	金	CIR
14	水	マラソン記録会 定例職員会議	31	土	

令和8年度糠内学園前期学校評価について（明倫小学校分）

先日、糠内学園全体の前期学校評価についての文書を配布いたしましたが、本校分の結果と考察についてお知らせいたします。このアンケートの結果につきましては、その評価・ご意見等を真摯に受け止め、全職員で共有し、今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

令和8年度 糠内学園明倫小学校 前年度との比較

No.	評価項目	保護者			児童生徒		
		学校平均			学校平均		
		R8 前期	R7 後期	R7 前期	R8 前期	R7 後期	R7 前期
1	お子さん(児童)は、学校へ来るのが楽しい、楽しみだ、と感じている。	3.6	3.5	3.8	3.3	3.9	3.9
2	お子さん(児童)は、学校の授業がよくわかる、と感じている。	3.0	3.3	3.4	3.7	3.8	3.8
3	お子さん(児童)は、学校(先生)が、話をよく聞いてくれる、と感じている。	3.1	3.8	3.8	3.6	4.0	3.9
4	お子さん(児童)は、自分にはよいところがあると思っている。	3.0	3.3	3.3	3.9	4.0	3.9
5	お子さん(児童)は、将来の夢や目標を持っている。	3.3	3.0	3.1	4.0	3.9	4.0
6	学園・学校は児童・保護者・地域に教育方針や目標、教育内容を十分に説明している。	3.6	3.6	3.6	—	—	—
7	学園・学校は確かな学力の定着をめざし、授業研究や学習指導(家庭学習、学習規律)など、学力向上に向けた取組を十分行っている。	3.4	3.5	3.6	—	—	—
8	学園・学校は豊かな心の育成をめざし、挨拶や礼儀等を十分指導したり、道徳教育の充実に努めたりしている。	3.7	3.6	3.5	3.6	4.0	4.0
9	学園・学校は健やかな体の育成をめざし、体力・運動能力の向上や食育推進に努め、生活習慣の指導を十分行っている。	3.6	3.6	3.3	3.9	4.0	3.8
10	学園・学校は施設設備等の点検や避難訓練等を通して、安心安全な学園・学校づくりに努めている。	3.9	3.8	3.6	3.9	4.0	4.0
11	学園・学校は日常の児童の活動や学園・学校の様子を、学園・学校便りや各種通信等で積極的に保護者・地域に情報の発信を行っている。	3.7	3.6	3.9	—	—	—
12	学園・学校は児童や保護者の願いを把握し、それに応える教育活動を行っている。	3.7	3.6	3.5	—	—	—
13	学校(先生)は、分かりやすく工夫した授業を行っている。	3.6	3.5	3.8	—	—	—
14	学校(先生)は、総合的な学習の時間や学園・学校行事等、特色を生かした教育活動を行っている。	3.7	3.6	3.6	4.0	3.8	3.9
15	学校(先生)は、教育相談や進路相談等により児童理解に努め、児童に寄り添った児童指導を行っている。	3.7	3.8	3.8	—	—	—
16	学校(先生)は、外部講師や訪問施設等、地域の教育資源を積極的に活用し、効果的な教育活動に努めている。	3.7	3.6	3.4	—	—	—
17	学校は、PTA活動や地域活動等の充実に図り、保護者・地域との連携を深めている。	4.0	3.6	3.4	—	—	—
18	お子さん(児童)は、学級活動、児童会活動や部活動を通して、自立した学校生活を送っている。	3.3	3.3	3.5	3.6	3.9	3.8
平均		3.5	3.5	3.6	3.7	3.9	3.9

＝全体的な考察＝

- 地域連携と PTA 活動の充実の項目において、保護者の平均が 4.0 と極めて高く、学校と地域・家庭が連携しながら教育を実施することができました。引き続き連携・協働しながら進めていきます。
- さす股を使った不審者対応訓練、実技を伴った避難訓練等により、「安全な学校づくり」の意識が定着してきています。内容を精査しながら、体験を交えた取組を続けていきたいと思います。
- 特色ある教育活動について、児童全員が「あてはまる」と回答しており、高い満足度を示しています。外部講師の活用や地域の特色に根差した活動、学園としての取組など、これからも試行錯誤しながら進めていきます。
- 児童自身は、夢や目標、自己肯定感、友達関係において、大人が予想している以上にポジティブな回答をしています。これからも大切に育んでまいります。
- ▲「学校が楽しい」の項目において、児童の平均が 3.3 と他の項目に比べ低めで、昨年度よりも下がっています。児童一人一人の話を聞きながら、学校がより楽しい場所になるよう工夫していきたいと思います。
- ▲「授業がよくわかる」「先生が話をよく聞いてくれる」の評価が保護者・児童ともに昨年度よりも下がりました。授業理解は、学校の根幹となります。一人一人の状況に合わせた丁寧な指導を心がけるとともに、自分たちで考える力の向上も図ってきたいと思います。また、子どもたちの声や思いに寄り添いながら、さらに子どもたちが安心できる学級・学校を目指して改善をしていきます。